



O.W.

WILDE NEWSLETTER

4

THE OSCAR WILDE SOCIETY OF JAPAN

日本ワイルド協会

ワイルド ニュースレター-4

---

明治時代ワイルドに貼られていた退廃悪魔主義者のレッテルは既に落ちたようだが、84年経つ今日、まだわが国では正当な目で見据えたワイルド論は少い。将来本協会員に依る研究や討論の中から、多くのすぐれた成果が生れることが期待される。いまデカダンの、享乐的・耽美的といった世紀末を彩る形容辞の万華鏡的陶酔の幻暉から覚めた眼で、ワイルドとかれの生きたイギリス19世紀の世紀末を見つめ直す必要があるだろう。そうすれば今世紀の世紀末の特性も見えてくるであろうし、昭和に於けるワイルドの位置も見据えられてくる筈である。明治は遠くなったが、明治に入れたものは、まだわれわれに近い。

(1986年秋期講演会での挨拶の要旨)

---

## 目 次

二つの世紀末	井村 君江	2
第8回夏期セミナー講演要旨		
マックス・ピアボウム『過去を覗く』のワイルドについて	前川 祐一	4
第8回夏期セミナー・シンポジウム		
特集「ワイルドと周囲の人たち」		
——ダグラス、コンスタンス、ジイド——		
ダグラスという男	西村 孝次	6
The Importance of Being Constance	井村 君江	9
ワイルドとジイド	堀江 珠喜	12
第11回秋期講演要旨		
ワイルドの時代とシャーロック・ホームズ	堀江珠喜	14
第11回秋期研究発表要旨		
Oscar Wilde の風習喜劇の言葉		
——喜劇性構築のレトリック——	梅津 義宣	16
第11回秋期研究発表要旨		
『ウインダムリア夫人の扇』について		
——扇の劇的効果を中心に——	土橋 初枝	20
ワイルド書誌	麓 常夫	18
1987年度日本ワイルド協会夏期セミナー案内		19
編集後記		22